

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社
 コード番号 6145 URL <http://www.nittoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月16日

(氏名) 近藤 進茂
 (氏名) 森下 弘祥

TEL 048-837-2011

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,431	—	1,515	—	1,564	—	646	—
20年3月期第3四半期	10,177	2.9	1,308	88.7	1,339	79.1	730	85.4
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
21年3月期第3四半期	38.40		—					
20年3月期第3四半期	43.30		43.25					

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	18,323	—	13,589	—	74.0	—	806.05	—
20年3月期	19,430	—	13,352	—	68.6	—	793.32	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 13,566百万円 20年3月期 13,326百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	△12.9	900	△54.5	1,000	△49.9	250	△80.3	14.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 株式会社コーセイ) 除外 1社(社名 ネコア社(米国))

(注) 詳細は、4ページの[定性的情報・財務諸表等]をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページの[定性的情報・財務諸表等]をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページの[定性的情報・財務諸表等]をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	18,948,923株	20年3月期	18,948,923株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	2,118,065株	20年3月期	2,150,496株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	16,827,886株	20年3月期第3四半期	16,867,349株

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、4ページの[定性的情報・財務諸表等]の「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用方針(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成20年9月のアメリカに端を發した金融危機が世界的な景気後退の引き金となり、株安、円高、消費収縮、生産縮小、企業収益の悪化、失業者の増加といった負の連鎖が世界各地で次々と顕在化し、経済規模の中で輸出が大きなウェートを占める日本も、この影響を急激かつ大きく受けました。

当社を取り巻く事業環境におきましても、民間設備投資が急激に縮小し、受注が大幅に減少しましたが、当第3四半期連結累計期間における売上高は、平成20年9月以前の受注分が大半を占めたため104億31百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は15億15百万円（15.7%増）、経常利益は15億64百万円（16.8%増）と前年同期比増加しましたが、四半期純利益は、保有有価証券の減損処理などがあり6億46百万円（11.5%減）となりました。

① 事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（巻線機事業）

全売上高の約92%を占める巻線機事業におきましては、前年同期に比べ、携帯電話等の情報通信業界向け巻線機の売上が減少する一方、液晶テレビ用インバータトランスコイル、デジタルカメラ用トリガーコイル、自動車の着火用イグニッションコイルや制御用リレーコイル向け巻線機が増加し、当第3四半期連結累計期間の売上高は98億57百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は18億58百万円（13.7%増）となりました。

（非接触ICタグ・カード事業）

非接触ICタグ・カード事業におきましては、前年同期に比べ、携帯電話用のタグの売上が減少し、当第3四半期連結累計期間での売上高は4億7百万円（前年同期比13.1%減）と前年同期比減少しましたが、受注選別を図り、営業利益は21百万円（33.1%増）と前年同期を上回りました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業におきましては、前年同期に比べ、不動産賃貸契約の内容に変更はなく、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期と同じ1億65百万円でしたが、不定期修繕を実施したため営業利益は1億36百万円（0.4%減）となりました。

② 所在地別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（日本）

本邦におきましては、当社及び株式会社コーセイにおける巻線機事業の売上に、非接触ICタグ・カード事業、不動産事業の売上加え、売上高は92億39百万円、営業利益は13億66百万円となりました。

（アジア）

本邦を除くアジア地域におきましては、中国、台湾の部品メーカー向け巻線機などを主力として売上高は10億94百万円、営業利益は88百万円となりました。

(アメリカ)

アメリカにおきましては、当地に拠点を置く日特アメリカ社において、北米から中南米へと生産拠点を移す自動車業界向けに当社巻線機の販売を中心に行い、売上高は96百万円、営業利益は18百万円となりました。

(ヨーロッパ)

現在、ヨーロッパに所在を置く当社子会社はございません。尚、同地域における当社グループの売上高は6億12百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

流動資産は前連結会計年度末対比12億6百万円減少し、75億25百万円となりました。主なものは法人税、配当金支払い、子会社株式の取得による現・預金の減少によるものです。固定資産は前連結会計年度末対比99百万円増加し、107億97百万円となりました。これは主として、繰延税金資産が増加したことによるものです。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比11億7百万円減少し、183億23百万円となりました。

② 負債

流動負債は前連結会計年度末対比15億31百万円減少し、33億8百万円となりました。これは主として、前受金と支払手形及び買掛金が減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比1億87百万円増加し、14億25百万円となりました。これは主として、長期借入金が減少した一方、株式会社コーセイの子会社化に伴う負ののれんを計上したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比13億44百万円減少し、47億33百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比2億37百万円増加し、135億89百万円となりました。これは主として、利益剰余金が増加したことによります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末対比15億13百万円減少し、21億43百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は3億2百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益と投資有価証券評価損の計上があった一方、仕入債務、前受金、賞与引当金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は7億99百万円となりました。これは主として、定期預金の預入による支出と株式会社コーセイの株式を取得するための支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は3億54百万円となりました。これは主として、配当金の支払によるも

のです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界中を襲った景気悪化は、特にこれまで民間消費を牽引してきた自動車、携帯電話、AV・OA機器製造各社の生産縮小と在庫圧縮に向けての対応をこれまでに経験のない早さでかつ広範に引き起こし始めました。

当社では昨年10月以降、製造コスト低減に加え、大胆かつ細部にわたる経費削減に取り組みを始め、損益分岐点を引き下げ、減収の中での収益確保体制を構築すべく諸施策を実施しております。

この体制を早期に構築することを喫緊の課題とする一方、国際社会からの要求が強い環境対策に向け、原動力となるモーター、電気エネルギーを作り出す発電機といった電気を操るコイルなどの省電力、効率化、二酸化炭素排出削減に向けて、さまざまな巻線機、周辺機器などの研究開発を続けて参ります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

ネコア社(米国)は、平成19年3月に事業を休止し、平成20年3月に清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

平成20年9月4日に株式会社コーセイの株式を100%取得し、子会社としており、第2四半期連結会計期間より貸借対照表を、当第3四半期連結会計期間より損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書を連結しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 重要性がない為、記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (会計処理基準に関する事項の変更)

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。尚、これによる損益に与える影響は軽微であります。

③第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。尚、これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

①第1四半期連結会計期間より、減価償却資産の耐用年数等に関する省令の改正に伴い、機械装置に係る耐用年数を従来の10年から9年に変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ7,021千円減少しております。

5 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,611,649	3,659,469
受取手形及び売掛金	2,577,144	2,551,802
原材料	284,018	163,843
仕掛品	1,763,406	1,962,314
貯蔵品	42,331	41,171
その他	253,114	365,067
貸倒引当金	△5,793	△11,079
流動資産合計	7,525,872	8,732,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,965,829	2,975,879
機械装置及び運搬具(純額)	503,629	524,128
土地	4,490,105	4,344,281
その他(純額)	184,637	129,687
有形固定資産合計	8,144,201	7,973,976
無形固定資産		
その他	70,098	75,463
無形固定資産合計	70,098	75,463
投資その他の資産		
投資有価証券	1,300,034	1,917,600
その他	1,316,241	814,903
貸倒引当金	△32,779	△83,932
投資その他の資産合計	2,583,496	2,648,571
固定資産合計	10,797,796	10,698,010
資産合計	18,323,668	19,430,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,234,922	2,871,184
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	146,332	173,600
1年内償還予定の社債	70,000	140,000
未払法人税等	168,389	489,541
賞与引当金	48,696	360,141
その他	440,427	805,992
流動負債合計	3,308,769	4,840,459
固定負債		
長期借入金	17,840	100,000
退職給付引当金	221,031	230,367
役員退職慰労引当金	263,804	262,638
負ののれん	219,487	—
その他	702,897	644,652
固定負債合計	1,425,060	1,237,657
負債合計	4,733,829	6,078,116

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,581,497	2,590,665
利益剰余金	5,922,935	5,646,783
自己株式	△1,611,814	△1,636,264
株主資本合計	13,777,547	13,486,112
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△205,990	△233,944
為替換算調整勘定	△5,004	74,363
評価・換算差額等合計	△210,995	△159,581
少数株主持分	23,286	25,953
純資産合計	13,589,838	13,352,484
負債純資産合計	18,323,668	19,430,601

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	10,431,365
売上原価	7,049,496
売上総利益	3,381,869
販売費及び一般管理費	1,866,605
営業利益	1,515,263
営業外収益	
受取利息	6,771
受取配当金	28,068
負ののれん償却額	11,552
その他	28,107
営業外収益合計	74,500
営業外費用	
支払利息	3,343
債権売却損	13,628
為替差損	5,879
その他	2,601
営業外費用合計	25,452
経常利益	1,564,311
特別利益	
貸倒引当金戻入額	9,535
役員退職慰労引当金戻入額	10,000
その他	9,074
特別利益合計	28,610
特別損失	
投資有価証券評価損	596,471
その他	17,194
特別損失合計	613,666
税金等調整前四半期純利益	979,254
法人税、住民税及び事業税	499,838
法人税等調整額	△169,757
法人税等合計	330,080
少数株主利益	2,981
四半期純利益	646,192

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	979,254
減価償却費	275,383
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56,485
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△318,335
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,166
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,572
受取利息及び受取配当金	△34,840
支払利息	3,343
負ののれん償却額	△11,552
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,151
有形固定資産除却損	11,863
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,013
投資有価証券評価損益 (△は益)	596,471
売上債権の増減額 (△は増加)	14,757
たな卸資産の増減額 (△は増加)	32,075
仕入債務の増減額 (△は減少)	△559,304
前受金の増減額 (△は減少)	△330,934
その他	△62,933
小計	526,192
利息及び配当金の受取額	34,297
利息の支払額	△4,238
法人税等の支払額	△858,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	△302,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△465,738
有形固定資産の取得による支出	△144,389
有形固定資産の売却による収入	28,306
投資有価証券の取得による支出	△2,559
投資有価証券の売却による収入	10,010
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△154,321
貸付けによる支出	△500
貸付金の回収による収入	3,357
その他	△73,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	250,000
短期借入金の返済による支出	△50,000
長期借入金の返済による支出	△144,308
社債の償還による支出	△70,000
自己株式の取得による支出	△623
自己株式の売却による収入	27,312
配当金の支払額	△365,613
その他	△1,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△354,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57,282
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,513,959
現金及び現金同等物の期首残高	3,657,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,143,408

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	巻線機事業 (千円)	非接触ICタグ ・カード事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,857,455	407,960	165,949	10,431,365	—	10,431,365
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,857,455	407,960	165,949	10,431,365	—	10,431,365
営業利益	1,858,629	21,913	136,744	2,017,287	(502,024)	1,515,263

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品及び役務の種類及び市場を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

- (1) 巻線機事業・・・コイル製造用自動巻線機、巻線システム、巻線機周辺機
- (2) 非接触ICタグ・カード事業・・・非接触ICタグ、非接触ICカード
- (3) 不動産賃貸事業・・・ビル賃貸

3 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の追加情報に記載のとおり、当社は、第1四半期連結会計期間より、減価償却資産の耐用年数等に関する省令の改正に伴い、有形固定資産の内、機械装置に係る耐用年数を従来の10年から9年に変更しております。この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業費用は巻線機事業が4,575千円、非接触ICタグ・カード事業が1,759千円、消去又は全社が687千円増加し、営業利益が同額減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,239,868	1,094,561	96,935	10,431,365	—	10,431,365
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	509,891	546,310	36,125	1,092,327	(1,092,327)	—
計	9,749,760	1,640,872	133,060	11,523,693	(1,092,327)	10,431,365
営業利益	1,366,481	88,978	18,110	1,473,570	41,692	1,515,263

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・シンガポール、マレーシア、タイ、台湾、中国

(2) アメリカ・・・アメリカ合衆国

3 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の追加情報に記載のとおり、当社は、第1四半期連結会計期間より、減価償却資産の耐用年数等に関する省令の改正に伴い、有形固定資産の内、機械装置に係る耐用年数を従来の10年から9年に変更しております。この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業費用は日本が7,021千円増加し、営業利益が同額減少しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高(千円)	3,938,261	383,038	612,676	4,933,976
II 連結売上高(千円)	—	—	—	10,431,365
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	37.7	3.7	5.9	47.3

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計額(但し、連結会社間の内部売上高を除く。)であります。

2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

3 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・シンガポール、マレーシア、タイ、台湾、中国、韓国

(2) アメリカ・・・アメリカ合衆国、メキシコ、ブラジル

(3) ヨーロッパ・・・ドイツ、フランス、オーストリア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項ありません。

「参考資料」

(要約) 前第3四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	10,177,092
II 売上原価	6,998,313
売上総利益	3,178,779
III 販売費及び一般管理費	1,870,287
営業利益	1,308,492
IV 営業外収益	67,804
V 営業外費用	36,738
経常利益	1,339,558
VI 特別利益	13,656
VII 特別損失	119,174
税金等調整前 四半期純利益	1,234,039
税金費用	501,885
少数株主利益	1,867
四半期純利益	730,286

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて記載しております。

(要約) 前第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区 分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,234,039
減価償却費	267,439
貸倒引当金の増加額	51,150
賞与引当金の減少額(△)	△ 79,258
退職給付引当金の減少額(△)	△ 14,907
役員退職慰労引当金の増加額	5,647
受取利息及び受取配当金	△ 34,636
支払利息	8,216
投資有価証券評価損	53,406
有形固定資産除却損	6,792
売上債権の減少額	727,537
たな卸資産増加額	△ 581,027
仕入債務の増加額	455,079
その他	260,897
小 計	2,352,621
利息及び配当金の受取額	34,636
利息の支払額	△ 8,003
法人税等の支払額	△ 124,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,254,976
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
3か月超定期預金の預入による支出	△ 32,492
有形固定資産の取得による支出	△ 58,525
投資有価証券の取得による支出	△ 150,949
貸付金の回収による収入	3,727
会員権の償還による収入	18,000
その他	72,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 147,351
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	650,000
短期借入金の返済による支出	△ 550,000
社債の償還による支出	△ 70,000
長期借入による収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△ 226,900
自己株式の取得による支出	△ 218,420
自己株式の売却による収入	5,121
配当金の支払額	△ 203,011
その他	△ 1,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 515,122
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3,023
V 現金及び現金同等物の増加額	1,589,478
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,312,897
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	41,132
VIII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,943,508

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて記載しております。

(要約) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	巻線機事業 (千円)	非接触IC タグ・ カード事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,541,851	469,291	165,949	10,177,092	—	10,177,092
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,541,851	469,291	165,949	10,177,092	—	10,177,092
営業費用	7,908,022	452,827	28,680	8,389,530	479,069	8,868,600
営業利益	1,633,829	16,463	137,269	1,787,562	(479,069)	1,308,492

(注) 1 事業区分の方法

製品・役務の種類及び市場を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

- (1) 巻線機事業……………コイル製造用自動巻線機、巻線システム、巻線機周辺機器
- (2) 非接触ICタグ・カード事業……………非接触ICカード、非接触ICタグ
- (3) 不動産賃貸事業……………ビル賃貸

6. その他

【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの生産実績は、以下のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)
巻線機事業	9,857,455
非接触ICタグ・カード事業	407,960
合計	10,265,415

(注) 1 金額の表示は、売価換算によっております。

2 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

なお、当社グループは、製品製造に係る部品加工、機械組立加工、電気配線組立加工等の一部を外注に委託しております。

事業の種類別セグメントの外注加工費の総製造費用に占める割合は、巻線機事業13.2%、ICタグ・カード事業29.8%であります。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの受注状況は、以下のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
巻線機事業	7,769,980	2,590,538
非接触ICタグ・カード事業	428,853	100,192
合計	8,198,834	2,690,730

(注) 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの販売実績は、以下のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)
巻線機事業	9,857,455
非接触ICタグ・カード事業	407,960
不動産賃貸事業	165,949
合計	10,431,365

(注) 1 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

2 当第3四半期連結累計期間において、総販売実績に対する割合が10/100以上の相手先はありません。